

筑波大学放射線・アイソトープ地球システム研究センター静電加速器実験施設利用料金

2023年10月1日改定(2023年11月9日追記)

利用課題の種類	分類	区分	利用単位と利用料金(円)	
成果占有	6MVタンデム加速器	宇宙用半導体照射	1日あたり	354,200
		加速器質量分析AMS	1日あたり	284,620
		マイクロビーム	1日あたり	392,150
		その他(6MVタンデム)	1日あたり	202,400
	1MVタンデトロン加速器	タンデトロン利用実験**	1日あたり	83,490
	放射性同位元素利用実験	陽電子消滅	1日あたり	103,730
		メスバウアー分光	1測定あたり	43,010
		超伝導磁石(メスバウアー分光オプション)*	1日あたり	92,340
		低温測定(メスバウアー分光オプション)	1日あたり	25,300
		線源利用	1日あたり	35,420
	質量分析試料処理	AMS-炭素試料処理	1日あたり	106,260
	高精度放射線検出	高度化放射線計測	1日あたり	35,420
成果公開	6MVタンデム加速器	宇宙用半導体照射	1日あたり	96,140
		加速器質量分析AMS	1試料あたり	2,530
		マイクロビーム	1日あたり	96,140
		その他(6MVタンデム)	1日あたり	96,140
	1MVタンデトロン加速器	タンデトロン利用実験**	1日あたり	36,680
	放射性同位元素利用実験	陽電子消滅	1日あたり	29,720
		メスバウアー分光	1測定あたり	16,440
		超伝導磁石(メスバウアー分光オプション)*	1日あたり	46,170
		低温測定(メスバウアー分光オプション)	1日あたり	12,650
		線源利用	1日あたり	12,650
	質量分析試料処理	AMS-炭素試料処理	1日あたり	12,650
	高精度放射線検出	高度化放射線計測	1日あたり	12,650
トライアル	産業利用および産学連携利用を対象、期間1年、1利用単位は原則2日、成果等は公開(特許取得等の理由により2年延期可能)。			無料

(注1)利用料金は総額表示。

(注2)成果公開とは、秘密保持義務が生じない利用形態をいう。

* 超伝導磁石は寒剤の供給が不安定なため当面の間、使用を休止する。

** 1MVタンデトロン加速器による分析実験(PIXE以外)は、受入れ担当者が長期国内不在のため2023年12月より当分の間休止する。